

# 令和3年度 第3回教育行政評価委員会 事項書

日時：令和3年11月29日（月）9:30～  
場所：伊賀市役所 404会議室

## 協議事項

教育行政評価の結果について

「令和3年度教育行政評価点検報告書」の内容確認

# 報告書提出前の内容確認資料

11月29日 午前9時30分から 404会議室

2021（令和3）年12月 日

伊賀市教育委員会  
教育長 谷口 修一 様

伊賀市教育行政評価委員会  
委員長 藤本 久司  
副委員長 加納 圭子  
伊室 春利  
西嶋 克司  
岡山 幹治  
岡山恵美子

## 令和3年度教育行政評価の結果について（報告）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、令和2年度における伊賀市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を実施しました。

つきましては、その結果について別紙「教育行政点検評価報告書」のとおり報告します。

## 令和3年度 伊賀市教育委員会の点検及び評価の概要

### 1. 経過及び目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、議会に提出するとともに公表しなければならない。」となっています。

教育委員会は、この法律に基づき、教育に関する施策について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政を効率的に進めるとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

### 2. 点検・評価の方法

令和3年度教育行政評価は、伊賀市総合計画の教育関連施策や教育委員会が策定した、2020（令和2）年度教育方針に掲載し実施した施策や事業・業務を対象としました。

点検・評価については、事業担当課が作成した令和2年度実績による事務事業評価シート及びヒアリング、その他資料に基づき行いました。

点検及び評価の内容は次のとおりです。

### 3. 総評

社会情勢が大きく変化をする中、改めて各事業の分析を行い、既成の枠にとらわれることなく実態に即した事業推進により、教育環境の更なる充実を図るよう努められたい。

#### 教育行政評価委員

氏名	所属・職名等
委員長 藤本 久司	元三重大学人文学部准教授
副委員長 加納 圭子	元学校教育課長、元中学校長
委員 伊室 春利	元伊賀市教育委員会事務局職員
委員 西嶋 克司	文化財保護指導委員
委員 岡山恵美子	図書館協議会委員
委員 岡山 幹治	青少年健全育成市民連絡会議副会長

#### 事業担当課ごとの点検・評価対象事業数

担当課	教育総務課	学校教育課 (給食センター)	生涯学習課	公民館
事業数	4	13	7	1
担当課	教育集会所	文化財課	図書館	計
事業数	2	9	7	43

#### 教育行政評価委員会の開催状況

日時	場所	内容
10月4日 13:30~16:30	伊賀市役所404会議室	*評価方法及び評価対象事業の確認 *評価対象事業の説明
11月5日 9:00~11:30	伊賀市役所404会議室	*評価対象事業の評価・意見等の調整
11月29日 9:30~11:15	伊賀市役所404会議室	*教育行政点検評価報告書の内容確認

# 努力目標評価シート

# 教育総務課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指 標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
子どもたちが、安心して学べる	1 校区再編事業の推進	阿山地区小学校再編計画	* 阿山小学校と玉滝小学校の統合協議を行った。	進捗率100%	進捗率100%	完了
		上野南部地区小学校再編計画	* 依那古小学校・神戸小学校・比自岐小学校の統合について、神戸小学校PTA、神戸地区、比自岐地区等との協議を行った。	進捗率50%	進捗率50%	継続
	2 学校(園)施設の整備充実	崇広中学校屋内運動場大規模改造事業	* 屋内運動場の大規模大規模改造工事を行った。	進捗率100%	進捗率100%	完了
		緑ヶ丘中学校校舎大規模改造事業	* 校舎棟の大規模改造工事を行った。着工は令和3年3月であった。	進捗率30%	進捗率30%	継続

努力目標		令和2年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1	校区再編事業の推進	○現在、当該校が抱える課題を踏まえ、地域の合意と参画を重視した統合を進められたい。	
2	学校(園)施設の整備充実	○感染症対策を踏まえ、学習環境整備を継続されたい。	

努力目標評価シート

学校教育課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性	
				2020年度実績値	2020年度目標値		
子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	1 創造的で活力ある学校、地域とともにある学校づくり	地域とともに学校マニフェスト推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各小中学校(園)に学校評議員・学校評価委員を配置し、家庭や地域と連携し、地域や社会に開かれた学校づくりを推進した。</li> <li>*学校運営協議会の運営により、保護者と地域住民等の学校運営への参画を促し、学校、保護者、地域住民が一体となって心豊かで健やかな子どもたちの育成を図った。</li> <li>*学校支援地域本部事業を推進し、学校と地域が一体となって子どもたちを育て、地域とともにある学校づくりを進めた。</li> <li>*学力向上推進事業、人権同和教育推進事業、キャリア教育推進事業の三事業を実施し、各小中学校(園)の校(園)長が作成する「学校マニフェスト」の実現を図った。</li> </ul>	設置者による評価値 小中学校 80.0点 幼稚園 87.8点	設置者による評価値 小中学校 85.0点 幼稚園 85.0点	継続	
	21 創造的で活力ある園づくりの推進			市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合:88.9%	市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合:90%		
	2 確かな学力の形成	22 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	学力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各小中学校で学力向上アクションプランを作成し、計画・実行・評価・改善のサイクルを定着に努めた。</li> <li>*伊賀市学力向上プロジェクト委員会を実施し、課題の分析、解決に向けた取り組みへの提言等をおこなうとともに、学力向上改善研修会を開催した。</li> <li>*中学校1年生で標準学力検査を実施した。</li> <li>*学力向上アドバイザーを各小中学校に派遣した。</li> <li>*「家庭学習・読書のすすめ」を作成し、小学校1年生、中学校1年生に配付した。</li> <li>*みえスタディ・チェック(県費)を実施した。</li> <li>*郷土教育教材「伊賀のこと」を作成・配付した。</li> </ul>	全国学力・学習状況調査 市内小中学校の平均点の全国比 小学校:— 中学校:—	全国学力・学習状況調査 市内小中学校の平均点の全国比 小学校:105.0 中学校:100.0	継続
			教職員研究研修経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>*7部会別教育研究活動の充実を図った。</li> <li>*教科書改訂に伴い、指導者用教科書・指導書を配付し、新学習指導要領に対応した指導力向上を図った。</li> <li>*研究指定校研究推進事業の充実を図った。(府小中学校、成和東小学校、成和西小学校、緑ヶ丘中学校)</li> </ul>	研修講座への参加者数:382人	研修講座への参加者数:1,700人	
3 人権同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成	24 人権同和教育の推進	人権同和教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*伊賀市人権同和教育基本方針に基づいた研究テーマを設定し、人権・同和教育の研究と実践を行った。</li> <li>*幼稚園・小中学校全教職員で学校人権・同和教育部会を組織し、全市的に人権・同和教育の研究と推進を行った。</li> </ul>	人権教育カリキュラムの見直しを「十分図れた」「図れた」学校数:30校	人権教育カリキュラムの見直しを「十分図れた」「図れた」学校数:30校	継続	
			学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数:1回以上	学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数:5回以上			
4 キャリア教育の推進	キャリア教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「自分発見!中学生・地域ふれあい事業」による、職場体験活動を中止したが、講師を招いて、進路や生き方について学ぶ学習を実施した。</li> <li>*小学校段階からの教育活動全体を通じた組織的・継続的な取組を推進するために、「キャリア・パスポート」の取組を開始した。</li> <li>*各学校における発達段階に応じた教育課程のあり方を研究した。</li> <li>*「伊賀市キャリア教育研修会」を開催し、専門家からみたキャリア教育のあり方を示してもらい、小中連携の意義を再確認し、今後の方向性を示した。</li> </ul>	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と回答した生徒の割合:—%	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と回答した生徒の割合:90%	継続		

努力目標評価シート

学校教育課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指 標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	7 生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成 23 豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成	生徒指導推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各学校において家庭訪問、巡回・補導、関連機関との連携・対応、捜査活動等の生徒指導活動に取り組むとともに、教育相談体制・生徒指導体制を整備し、教育相談員等と連携しながら問題行動の早期発見・早期の対応や未然防止に取り組んだ。</li> <li>*スクール・ソーシャル・ワーカーを2人配置し、学校からの要望に基づいて、家庭支援や制度利用支援を行った。</li> <li>*児童生徒一人一人についての理解と対応方法、学級集団の状態と学級経営の方針について把握するため、全小中学校で学級満足度調査(Q-U調査)を2回実施した。</li> <li>*全学校にいじめ問題相談員を配置し、地域においてもいじめ問題に相談できる体制づくりに努めた。</li> </ul>	小中学校における問題行動発生件数:31件	小中学校における問題行動発生件数:35件	継続
	8 不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進 28 教育相談の実施 29 不登校児童生徒の支援	不登校児童生徒支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*伊賀市教育支援センター(ふれあい教室)で、不登校児童生徒に対する適応指導活動、児童・生徒及び保護者との教育相談活動を実施した。</li> <li>*不登校の実態把握に努めるとともに、教育相談に関わる教職員研修を実施した。</li> </ul>	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合:84.1%	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合:90%	継続
	10 子どもたちの安全・安心の確保	教育振興一般経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育活動サポーターの配置、自転車ヘルメットの配付・「子どもSOSの家」旗及び注意喚起看板等の購入により、児童生徒の安全を確保した。</li> </ul>	登下校中の小中学生の交通事故発生件数:11件(前年度差-3件)	伊賀市内の小中学生の交通事故発生件数:0件	継続
	11 特別支援教育の充実 26 個別の支援を要する幼児についての深い理解と実態に即した適切な指導	特別支援教育充実事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育支援員、特別支援教育支援員を配置し、児童生徒のニーズにあった支援を行う体制をつくった。</li> <li>*児童生徒の正しい理解のために専門機関による巡回相談を実施し、適切な支援につなげた。</li> </ul>	教育支援員・特別支援教育支援員配置:48人	教育支援員・特別支援教育支援員配置:49人	継続
	13 外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	外国人児童生徒支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*初期適応指導教室(チャレンジ教室)を運営した。</li> <li>*「外国人児童生徒と保護者のための進路ガイダンス」を実施した。</li> <li>*外国人児童生徒のための漢字検定を実施した。</li> <li>*日本語指導者研修会を開催した。</li> <li>*外国人児童生徒日本語指導補助員を配置した。</li> <li>*日本語指導コーディネーターを派遣した。</li> <li>*教育相談、保護者への説明の際の通訳派遣、翻訳支援を実施した。</li> </ul>	日本語指導が必要な外国人生徒の高校進学率:100% 漢字検定 外国人生徒の合格率:72.6%	日本語指導が必要な外国人生徒の高校進学率:95% 漢字検定 外国人生徒の合格率:60%	継続
14 外国語教育の推進	英語指導助手招へい経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>*外国語活動指導助手(JETプログラム事業)を各中学校へ派遣した。</li> <li>*外国語活動指導助手(直接任用)を各小学校へ派遣した。</li> <li>*小学校外国語指導者研修会を実施した。</li> </ul>	中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.7日	中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.2日	継続	

努力目標評価シート

学校教育課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
子どもたちが、未来に夢	27 教育研究の推進充実	教育研究センター管理運営費	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 教育研究センターの管理運営を行った。</li> <li>* 学校教育及び社会教育関係者の研修会等を開催した。</li> <li>* 教職員、学校、地域の連携を支援に努めた。</li> </ul>	会議室使用延べ人数: 8,286人	会議室使用延べ人数: 10,800人	継続
子どもたちが、安心して学べる	20 学校給食の充実	学校給食管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* JAなどの物資納入業者と連携し、食材の確保や価格の調整を図りながら地場産品、特に伊賀産を積極的に使用した。また、いがスマイル給食の取り組みでは、児童・生徒に伊賀市の特産品を知ってもらえるよう献立表等でお知らせをしたり、DVDを活用した。</li> <li>* 児童の施設見学、学校を訪れ給食センターの業務を紹介しながら、学校給食を通しての食育を実施した。</li> <li>* 毎月発行する「給食だより」では地元食材を紹介し、伊賀市ホームページには給食の献立盛付表を掲載するなど、家庭に学校給食を知ってもらった。</li> <li>* 調理場から出るクズ、学校から戻る食べ残しを検査し、児童・生徒が食べ残さない給食を提供できるよう研究した。食育の授業では「食品ロス」について触れた。</li> <li>* 学校ごとに児童が要望する献立を募り、給食センターで集約した結果を反映させた「リクエストメニュー」を提供した。</li> </ul>	地場産食材(県内産・伊賀産)使用率(年間平均) 3センター平均 33.0%	地場産食材(県内産・伊賀産)使用率(年間平均) 3センター平均 30.0%	継続

努力目標	令和2年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1 創造的で活力ある学校、地域とともにある学校づくり 21 創造的で活力ある園づくりの推進	<p>○コロナ禍において、地域の方々が学校に集まることができなかったが、今後、徐々に緩和し地域に開かれた学校づくりを目指していただきたい。また、感染症予防対策を十分とったうえで、学校と保護者、地域が一緒になって子どもたちの育ちを支援していただきたい。</p> <p>○学校運営協議会組織の活用、コミュニティスクールの充実を図られ、一層、地域が学校をサポートする機運を高められたい。</p> <p>○授業参観や聞き取り学習等が実施されず、家庭や地域が学校との距離を感じるが続いた。そんな中で、声が届いていると感じる保護者が9割ということは評価したいし、努力を続けてほしい。</p>	
2 確かな学力の形成 22 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	<p>○マニフェストのマネリ化が見られる学校があれば注意されたい。</p> <p>○絵本から物語本に移る時期、特に小学3年生向けに「家庭学習・読書のすすめ」などで、読書の動機づけ指導をされるよう望む。</p> <p>○コロナ禍で、授業の確保や家庭学習における厳しい状況が想定されるため、学力・学習状況の継続した把握や、一日の授業時間数の増加と子どもたちの負担への配慮等に留意願いたい。</p> <p>○教科指導力向上を目標とした研修の機会を増やすとともに、研修会への教職員の積極的な参加をお願いしたい。</p>	
3 人権・同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成 24 人権・同和教育の推進	<p>○感染症に関する間違った認識によって偏見や決めつけ、排除が生じることがないよう、人権教育のさらなる充実を望む。</p>	

# 努力目標評価シート

# 学校教育課

努力目標	令和2年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
4 キャリア教育の推進	○職場体験できる機会が減り、将来展望が具体的に描き切れずにいる生徒の存在がある。今後は、再開していく方策を探りつつ、並行して、オンライン等を活用した疑似体験などの多面的なキャリア教育を考えていただきたい。	
7 生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成 23 豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成	○他県でいじめ問題が発生し消極的な初期対応をして世論の非難を浴びるケースがある。伊賀市でそのような学校や校長が出ないよう、問題発生時の危機管理対応を各学校に日ごろから徹底されたい。 ○学年が上がるにつれ、いじめの度合は大きくなると考える。また、家庭環境からくる子どもたちのストレスが、いじめに発展すると考える。そのため、学年での差異や家庭環境に起因するストレス等のいじめに発展する原因や子どもたちのささいな言動に配慮できる学校の体制を強化していただきたい。 ○ヤングケアラーの存在や家庭におけるネグレクト等の増加が気がかりである。問題行動の背景にあるものを的確に捉え、県や市の関係機関と連携を強化した健全育成をお願いしたい。 ○教育相談を望んでいる子どもたちがたくさんいる。伊賀市教育支援センター(ふれあい教室)、学校内に相談室を設置するなど、子どもたちの居場所を充実されたい。	
8 不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進 28 教育相談の実施 29 不登校児童生徒の支援	○コロナ禍において、不登校児童生徒が増加している状況の中で、一人ひとり環境は違うと思うので、根気強くあたたかく、支援をお願いしたい。	
10 子どもたちの安全・安心の確保	○教育活動サポーターの配置はとても重要と考える。多くの方々の協力に期待したい。 ○登下校時の安全確保のために、通学路の点検や「子どもSOSの家」の旗、「あぶない」の看板の点検等の取り組みを充実されたい。	
11 特別支援教育の充実 26 個別の支援を要する幼児についての深い理解と実態に即した適切な指導	○一人ひとりの児童生徒に対し、心の通じる対応とサポートを望む。	
13 外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	○漢字検定の取り組みはモチベーションアップに良い取り組みですばらしい。今後も良いアイデアがあれば進んで取り入れてほしい。 ○コロナ禍での数的減少は残念ではあるが、率の実績値は評価できる。	
14 外国語教育の推進	○ALTの派遣日数が増加しているが、その効果が保護者に分かるよう努められたい。	
20 学校給食の充実	○今後も食品ロス減少の取組を続けられたい。この取組は学校との連携や児童生徒への啓発、特に食育の授業の充実など長期の継続した努力をされたい。 ○学校給食に地場産食材を積極的に導入しようとする姿勢と地場産食材使用率が目標を達成していることを評価する。 この取組は、安全・安心な給食の提供にとどまらず、伊賀市の特産物について学習する機会であり、また、地域の環境維持、輸送に要するエネルギーの削減など広く環境問題とつながる。環境教育との連携も視野に、意義の整理や更なる取組の推進を図られたい。 ○コロナ禍で子どもたちの給食は「黙食」を余儀なくされている現状だが、今後とも安全・安心でおいしい給食を提供されたい。	



努力目標評価シート

生涯学習課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
動生涯を通じ、生きがいを持ち活	1	社会教育の推進	成人式開催経費 * 令和3年1月10日(日)に新成人を祝う式典を中学校区別(9会場)に開催した。広い会場やビデオ放映への変更、様々な禁止や条件を付ける等当日においても十分なコロナ感染対策を取り、実施した。	参加率: 71.8%	参加率: 76%	継続
	3	地域づくりの支援	生涯学習推進啓発事業 * 上野公民館分館に配置の社会教育推進員を対象に研修等を行った。 * 各住民自治協議会や公民館職員等を対象に人材育成講座を開催した。 * 地域活動の情報共有を図るため、「伊賀市の地域活動—2019年度 基礎データ集録」として更新し、各地区公民館及び分館、地区市民センターや関係各課へ冊子を配布した。	参加者数: 227人	参加者数: 350名	継続
部落差別をなくす	4	人権尊重の精神を 培い、主体的に行動の できる人づくり	教育集会所交流事業 * 伊賀市教育集会所小学生交流会「みんなよっといで!!!」 * 伊賀市教育集会所中学生交流会 * 伊賀市教育集会所高校生・青年生人権学習交流会	参加者アンケートの満足度: 100%	参加者アンケートの満足度: 95%	充実
	8	人権問題啓発活動の推進	同和教育研究推進事業 * 関係機関と連携し人権同和教育研究・推進活動を行いました。 * 地域の実情に応じた人権同和教育講演会・研究大会を実施しました。	参加者数: 3,941人	参加者数: 8,500人	継続
			(いがまち) ① 学校人権同和教育研究会補助等	① 12部会の開催回数: 58回	12部会の開催回数: 60回	継続
			② 小中学校交流会補助	② 開催回数: 小学校4,5,6年中学校1,2,3年各1回 参加者数: 476人	開催回数: 小学校4,5,6年中学校1,2,3年各1回 参加者数: 410人	
	同和教育研究推進事業	(青山) ① 同和教育推進協議会活動研修会等 ② 同和教育講演会等 ③ 人権のつどい ④ 人権啓発地区別懇談会	① 開催回数: 5回	開催回数: 15回	継続	
			② 開催回数: 中止	開催回数: 1回 参加者数: 200人		
③ 開催回数: 中止			開催回数: 1回 参加者数: 300人			
同和教育研究推進事業	(いがまち) ① 人権パネル展示 ② 人権図書コーナー設置 ③ 公民館人権研修会(サークル協議会と共催)	① 開催回数: 5回 参加者: 1,003人	開催回数: 5回 参加者: 3,000人	継続		
		② 蔵書数: 362冊	蔵書数: 365冊			
		③ 開催回数: 1回 参加者数: 57人	開催回数: 1回 参加者数: 70人			
同和教育研究推進事業	(阿山) ① 人権作文・ポスター展示 ② 人権パネル展示 ③ 人権図書コーナー設置 ④ 同和教育学習講座	① 開催回数: 1回 来館者数: 600人	開催回数: 1回 来館者数: 600人	継続		
		② 開催回数: 12回 来館者数: 7,272人	開催回数: 12回 来館者数: 6,000人			
		③ 開催回数: 1回 蔵書数: 61冊	開催回数: 1回 蔵書数: 210冊			
同和教育研究推進事業	(大山田) ① 人権パネル展示 ② 人権図書コーナー設置 ③ 文化講演会 ④ サークル団体等 人権研修会	① 開催回数: 10回	開催回数: 12回	継続		
		② 蔵書数: 269冊	蔵書数: 265冊			
		③ 開催回数: 0回 参加者数: 0人	開催回数: 1回 参加者数: 50人			
			④ 参加者数: 0人	参加者数: 40人		

努力目標評価シート

生涯学習課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性			
				2020年度実績値	2020年度目標値				
部落差別をなくす	8	人権問題啓発活動の推進	同和問題啓発事業	(青山) ①人権パネル展示 ②人権図書コーナー設置 ③公民館人権研修会	①開催回数:8回 参加者数:579人 ②開催回数:0回 ③開催回数:1回 郵送者数:30人	開催回数:8回 参加者数:1,500人 開催回数:5回 開催回数:2回 参加者数:110人	継続		
			放課後子ども教室推進事業	*2つの放課後子ども教室の活動支援を行ったが、(コロナ感染防止の為、1教室は1年間活動休止)市内のコロナ感染状況によっては活動をした。 *伊賀市放課後子どもプラン施策検討委員会を8月に書面決議により開催した。	教室1回あたりの平均利用児童数(2教室計):12人	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計):25人	継続		
子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年センター運営経費	*街頭補導活動:毎月4回の定時補導等を実施した。 *青少年相談活動:市広報などを通して、青少年相談窓口の周知を行った。 *環境浄化活動:補導員や補導活動協力者、各関係機関の協力を得て、街頭補導時に市内の書店・カラオケボックス・ゲームセンターなどを巡回し、青少年に有害な環境点検を行うとともに、環境改善への協力を求めた。	被補導少年数:8人	被補導少年数:20人	改善		
			青少年健全育成事業	*第13回「輝け!いがっ子フォトコンテスト」を実施し、輝け!いがっ子憲章の周知・啓発を行った。 *青少年健全育成推進大会として、大人を対象とした講演会(2/6)と、親子を対象とした人形劇の公演(3/6)を計画した。(新型コロナウイルス感染拡大により中止) *伊賀市青少年育成市民連絡会議に対して青少年育成活動事業の補助をし、助成団体の特色を生かした事業(地域住民との交流・世代間交流・自然体験など)を支援した。 *青少年健全育成市内一斉活動を実施した。 青少年非行防止活動強化月間(7月) (※子ども・若者育成支援強調月間および未成年者喫煙防止キャンペーン(11月)は新型コロナウイルス感染防止のため中止) *伊賀地区子どもわかもの育成支援のための支部研修会を開催した。(※伊賀市青少年育成ネットワークづくり研修会(8月)は新型コロナウイルス感染防止のため中止)	青少年健全育成推進大会参加者数:0人 ※新型コロナウイルス感染拡大により中止となったため。	青少年健全育成推進大会(人形劇・講演会)参加者数:200人	改善		
			ふるさと学習事業		開催回数:3回 参加者数:49人	開催回数:7回 参加者数:140人	改善		
			青少年健全育成事業		開催回数:0回 参加者数:0人	開催回数:7回 参加者数:1,500人	改善		
			(いがまち)						
			①夏、冬の体験教室		①開催回数:1回 参加者数:0人(夏季中止) 参加者数:78人(冬季)	開催回数:2回 参加者数:40人(夏季) 参加者数:80人(冬季)	改善		
②小中学生下校時パトロール		②開催回数:18回 参加者:30人	開催回数:17回 参加者:45人						
③非行防止夏季夜間パトロール		③開催回数:0回	開催回数:1回 参加者数:50人						
④家庭教育講演会		④新型コロナウイルスの為、開催中止							

## 努力目標評価シート 生涯学習課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指 標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
子どもや若者が、健やかに成長する	5 青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	(高ヶ原) ①青少年非行防止パトロール ②非行防止事業 ③体験型学習	①開催回数:17回 参加者数:51人 ②開催回数:2回 参加者数:61人 ③開催回数:1回 参加者数:17人	開催回数:25回 参加者数:80人 開催回数:1回 参加者数:20人 開催回数:20回 参加者数:500人	改善
			(阿山) ①青少年非行防止パトロール ②人づくり市民会議事業連携	①開催回数:1回 参加者数:6人 ②開催回数:19回 参加者数:192人	開催回数:4回 参加者数:70人 開催回数:18回 参加者数:700人	改善
			(大山田) むらびとづくり推進会議事業連携	開催回数:0回	開催回数:8回	改善
			(青山) ①防犯ネットワーク会議 ②小中学校下校時パトロール ③青山青少年育成会議事業連携	①開催回数:2回 ②開催回数:49回 ③開催回数:5回	開催回数:2回 開催回数:85回 開催回数:11回	改善

努力目標	令和2年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1 社会教育の推進	○ 難しい状況で工夫して各所で成人式を執り行っていることに敬意を表する。成人にとっては忘れがたい貴重な行事になるので、その時に社会状況に応じた努力を重ねてほしい。	
3 地域づくりの支援	○ 地域づくりの支援として人材育成に取り組む努力を評価する。人材育成事業の成果を例えば新たに始まった自主的な事業の数などで測定し、改善への指針を得ることを検討されたい。	
5 青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	○ コロナでの休止後の放課後子ども教室再開時に疎外される子どもが出ないよう、子どもの人間関係の変化に留意し、問題の悪化を事前に防げるよう細心の注意を払ってほしい。 ○ 補導活動の努力に敬意を表したい。世の中の変化に応じて、巡回場所を検討、工夫して計画されたい。 ○ 被補導少年数の目標値はゼロが望ましいと考える。青少年の健全育成に一層尽力されたい。 ○ コロナ禍において、青少年健全育成団体の活動が衰退しないように、指導・支援に努められたい。	

努力目標評価シート

教育集会所

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	人権教育推進事業	* 小学生地区学習会 部落差別をはじめあらゆる差別を許さない仲間づくりを進めるために、地域の歴史や人々の生活を学ぶ事で誇りに思い、差別を見抜き、なくしていくことのできる学習を行った。 * 子ども教室 学力保障と差別をなくす仲間づくりを進めるため、長期休業期間中に、学習会や体験教室などを実施した。	(下郡) 開催回数:46回 参加者数:271人	(下郡) 開催回数:40回 参加者数:450人	継続
				(前川) 開催回数:28回 参加者数:727人	(前川) 開催回数:35回 参加者数:1,100人	継続
				(奥馬野) 開催回数:18回 参加者数:504人 (ライトピア子ども会) 開催回数:0回 参加者数:0人	(奥馬野) 開催回数:30回 参加者数:800人 (ライトピア子ども会) 開催回数:10回 参加者数:120人	継続
			* 中学生地区学習会、高校生・青年友の会 部落差別をはじめあらゆる差別を許さない仲間づくりを進めるために、地域の歴史や人々の生活を学ぶ事で誇りに思い、差別を見抜き、自分達で活動する大切さを学習することができた。	(八幡) 中学生地区学習会 開催回数:26回 参加者数:390人 高校生等学習会 開催回数:38回 参加者数:468人	(八幡) 中学生地区学習会 開催回数:36回 参加者数:440人 高校生等学習会 開催回数:50回 参加者数:800人	継続
				(下郡) 開催回数:21回 参加者数:117人 (下郡高校生友の会) 開催回数:10回 参加者数:0人	(下郡) 開催回数:30回 参加者数:330人 (下郡高校生友の会) 開催回数:12回 参加者数:36人	継続
			(寺田) 開催回数:30回 参加者数:386人 (寺田教科学習会) 開催回数:32回 参加者数:276人 (寺田高校生友の会) 開催回数:9回 参加者数:38人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数:0回 参加者数:0人	(寺田) 開催回数:35回 参加者数:450人 (寺田教科学習会) 開催回数:50回 参加者数:310人 (寺田高校生友の会) 開催回数:15回 参加者数:70人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数:2回 参加者数:100人	継続	
			(奥馬野) 開催回数:25回 参加者数:515人 (奥馬野中高生学習会) 開催回数:0回 参加者数:0人	(奥馬野) 開催回数:30回 参加者数:600人 (奥馬野中高生学習会) 開催回数:8回 参加者数:60人	継続	
			(前川) 開催回数:71回 参加者数:1,051人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数:1回 参加者数:54人	(前川) 開催回数:90回 参加者数:1,400人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数:3回 参加者数:80人	継続	

努力目標評価シート

教育集会所

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性	
				2020年度実績値	2020年度目標値		
部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	教育集会所事業経費	* 青山学校同和教育推進委員会	(老川) 開催数:年9回 延べ参加者数:99人	(老川) 開催数:年11回 延べ参加者数:110人	統合	
			* 保小中同和教育実践交流会	(老川) 開催数:年6回 延べ参加者数:72人	(老川) 開催数:年5回 延べ参加者数:100人	統合	
			①推進委員会 ②実践報告書作成 ③推進委員会だより発行	(老川) ①開催数:年1回 参加者数:7人 ②発行:年1回 ③発行:年2回	(老川) 開催数:年1回 参加者数:7人 発行:年1回 発行:年3回	統合	
	人権教育推進事業			* 生活講座、識字教室 部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、文字を中心とした学習活動や差別の不合理さを伝え差別をなくすための啓発活動を共同作品製作を通じて行った。	(八幡) 識字教室 開催回数:38回 参加者数:161人	(八幡) 識字教室 開催回数:48回 参加者数:340人	継続
				(前川) 開催回数:68回 参加者数:648人	(前川) 開催回数:95回 参加者数:1,000人	継続	
				(奥馬野) 開催回数:17回 参加者数:101人	(奥馬野) 開催回数:37回 参加者数:270人	継続	
				(老川) ・生活講座 開催数:年24回 延べ参加者数 124人 ・識字教室 開催数:年16回 延べ参加者数 78人 ・パソコン教室 開催数:年16回 延べ参加者数 77人	(老川) ・生活講座 開催数:年20回 延べ参加者数 110人 ・識字教室 開催数:年20回 延べ参加者数 110人 ・パソコン教室 開催数:年20回 延べ参加者数 110人	継続	
				* 小学生地区学習会 部落差別をはじめあらゆる差別を許さない仲間づくりを進めるために、地域の歴史や人々の生活を学ぶ事で誇りに思い、差別を見抜き、なくしていくことのできる学習を行った。	(八幡) 開催回数:30回 参加者数:874人	(八幡) 開催回数:32回 参加者数:1000人	継続
				* 子ども教室 学力保障と差別をなくす仲間づくりを進めるため、長期休業期間中に、学習会や体験教室などを実施した。	(寺田) 開催回数:27回 参加者数:784人 (寺田教科学習会) 開催回数:25回 参加者数:167人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数:16回 参加者数:90人	(寺田) 開催回数:31回 参加者数:600人 (寺田教科学習会) 開催回数:30回 参加者数:140人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数:65回 参加者数:600人	継続

努力目標評価シート

公民館

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性	
				2020年度実績値	2020年度目標値		
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7 生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	【上野公民館】			統合	
			通年講座(悠々・ダンスフィットネス・免疫力UPヨガ)	開催回数:14回 参加者数:286人	開催回数:17回 参加者数:900人		
			初めての講師サポート事業を実施し、1事業を採択した。	開催中止	開催回数:10回 参加者数:150人		
			天神祭におけるだんじり見学、組紐づくり体験を開催した。	開催回数:2回 参加者数:39人	開催回数:3回 参加者数:60人		
			丑の春展として、子どもを対象とした絵画と一般対象の絵馬の作品を募集し、期間中の掲載に努めた。	参加者数:112人	参加者数:250人		
			サークルまつり	サークル数:21 (中止)	サークル数:21		
			公民館サークルの育成を行った。	回数:2回	回数:2回		
			上野公民館分館活動事業を21分館へ委託した。	分館数:22 事業数:159	分館数:22 事業数:200		
			参加型絵画教室めぐりでゴッホ展を開催した。	参加者数:1,350人	—		
			【いがまち公民館】				統合
			公民館一般講座	開催回数:18回 参加者数:322人	開催回数:36回 参加者数:700人		
			公民館こども講座	開催回数:5回 参加者数:64人	開催回数:12回 参加者数:250人		
読み聞かせ会	開催回数:2回 参加者数:54人	開催回数:30回 参加者数:500人					
やまなみ文化協会育成	回数:2回	回数:2回					
やまなみ文化祭(サークル交流会)	開催回数:1回 参加団体:30団体	開催回数:1回 参加団体:13団体					
【島ヶ原公民館】			統合				
公民館一般講座	開催回数:12回 参加者数:177人	開催回数:24回 参加者数:350人					
絵本の読み聞かせ教室	開催回数:8回 参加者数:385人	開催回数:20回 参加者数:600人					
文化サークルまつり演芸会	開催回数:0回 参加者数:0人	開催回数:1回 参加者数:100人					
文化作品まつり展覧会	開催回数:1回 参加者数:495人	開催回数:1回 参加者数:600人					
【阿山公民館】			統合				
公民館一般講座	開催回数:6回 参加者数:103人	開催回数:6回 参加者数:100人					
こども対象講座	開催回数:18回 参加者数:137人	開催回数:33回 参加者数:450人					
あやま芸能まつり	開催回数:0日 参加者数:0人	開催回数:1日 参加者数:450人					
あやま展覧会	開催回数:3日 参加者数:669人	開催回数:3日 参加者数:1,200人					

努力目標評価シート

教育集会所

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	人権教育推進事業	* 人権教育講演会、学習会 部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けて、地域における人権同和教育をすすめるために、様々な機会をとらえて人権同和教育に対する講演会や学習会はコロナ禍で中止となりました。	(八幡 人権講演会) 開催回数:0回 参加者数:0人	(八幡 人権講演会) 開催回数:2回 参加者数:190人	継続
				(下郡人権と平和学習会) 開催回数:1回 参加者数:71人 展示会10日間 延べ200人の参加 (依那古草の根会議) 開催回数:0回 参加者数:0人 (上野南中学校区推進委員会) 開催回数:3回 参加者数:44人 (上野南中学校区各 部交流会) 開催回数:3回 参加者数:37人 (高齢者 人権教養講座) 開催回数:0回 参加者数:0人	(下郡人権と平和学習会) 開催回数:2回 参加者数:130人  (依那古草の根会議) 開催回数:1回 参加者数:100人 (上野南中学校区 学習会) 開催回数:1回 参加者数:70人  (下郡老人クラブ 学習会) 開催回数:1回 参加者数:60人	継続
				(前川 特別解放講座) 開催回数:0回 参加者数:0人	(前川 特別解放講座) 開催回数:1回 参加者数:100人	継続
				(老川) 開催数:年1回 延べ参加者数: :19人	(老川) 開催数:年3回 延べ参加者数: :200人	継続

努力目標	令和2年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
9 人権同和教育の推進	○各地域における人権同和教育の取組について、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となる事業が多数あったが、今後とも実施回数や参加人数などの維持、継続を強く望む。  ○今後も差別をなくす仲間づくりの支援とリーダーの育成に努められたい。	

努力目標評価シート

公民館

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7 生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	【阿山公民館】 公民館サークルの育成 読み聞かせ会	回数:8回 開催回数:7回 参加者数:5人	回数:8回 開催回数:24回 参加者数:110人	統合
			【大山田公民館】 一般講座 子ども対象講座 リズム運動教室(園児対象) サークルの育成 芸術文化祭(芸能大会) 芸術文化祭(展覧会) 読み聞かせ会(図書室) 読み聞かせ会(青山小学校等) 読み聞かせ会(子育て支援センター他)	開催回数:11回 参加者数:173人 開催回数:7回 参加者数:131人 開催回数:5回 参加者数:180人 回数:1回 開催回数:0回 参加団体:0団体 開催回数:0回 出展者数:0人 開催回数:11回 参加者数:110人 開催回数:4回 参加者数:404人 開催回数:2回 参加者数:38人	開催回数:20回 参加者数:300人 開催回数:10回 参加者数:220人 開催回数:6回 参加者数:230人 回数:3回 参加団体数:7団体 出展者数:800人 開催回数:24回 参加者数:240人 開催回数:30回 参加者数:1,100人 開催回数:3回 参加者数:140人	統合
			【青山公民館】 まなびあおやま(一般)講座 まなびあおやま(子ども)講座 図書室公開講座『おはなし広場』 地域学習講座 読み聞かせ会(青山図書室) 文化サークル連協芸能発表会 ふるさと美術文化展覧会 公民館サークルの育成 青山分館活動事業	開催回数:4回 参加者数:28人 開催回数:1回 参加者数:11人 開催回数:1回 参加者数:67人 開催回数:10回 参加者数:264人 開催回数:5回 参加者数:125人 中止 中止 回数:4回 分館数:6 事業数:23	開催回数:23回 参加者数:390人 開催回数:6回 参加者数:220人 開催回数:7回 参加者数:350人 開催回数:5回 参加者数:360人 開催回数:15回 参加者数:450人 開催回数:1回 参加者数:400人 開催回数:1回 参加者数:410人 回数:18回 分館数:6 事業数:48	統合

努力目標	令和2年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
7 生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	<p>○統合後の事業の取捨選択は従来の単純な継続、マンネリ化にならないよう、時代にふさわしいもの、ニーズの多いものを熟考、検討し、編成してほしい。</p> <p>○今後の生涯学習推進体制によって、その地域の活動の濃淡ができることのないよう十分な検討を望む。</p> <p>○これまで育成や支援をしてきたサークル・団体が、衰退していくことがないように努められたい。</p>	



努力目標評価シート

教育集会所

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	教育集会所事業経費	* 地域ぐるみの同和教育総合実践活動事業 (崇広中学校校区ヒューマンフェスタ) 崇広中学校を中心に校区内小学校の教師、保護者を対象に研修会等を開催し、校区内の一体となった人権同和教育を推進した。崇広中学校校区地域ぐるみヒューマンフェスタはコロナ禍で中止になりました。(崇広中学校校区地域ぐるみの人権・同和教育推進委員会に委託)	(八幡) 開催中止	(八幡) 開催回数:1回 参加者数:2,000人	統合
			* 人権同和教育相談事業 人権同和教育の推進と併せて、保護者からの相談の機会として開設し、対応した。(各集会所では随時対応)	(寺田) 開催回数:14回 参加者数:14人	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:10人	統合
			* 中瀬ふれあい夏祭り人権トーク&コンサート 幅広い市民への人権同和教育並びに人権啓発の推進として、中瀬ふれあい夏祭りにおいて、人権トーク&コンサートを開催した。 * 寺田フィールドワーク 地域や保育士・教職員などの要望に応じて、地区内のフィールドワークを実施することにより、差別の不合理さや差別をなくすために行動する人たちの思いに触れる中で、人権意識の向上をめざした。 * 小中人権同和教育講演会 中瀬小学校・城東中学校のPTAと共催し、児童・生徒・保護者・地域住民などを対象とした、観劇会・講演会を開催した。	(寺田) 開催回数:3回 参加者数:451人	(寺田) 開催回数:6回 参加者数:1,200人	統合
			* 城東中学校区小学校3・6年生人権学習会 * 城東中学校1年生人権学習会 城東中学校区小学校3・6年生、城東中学校1年生の人権・部落問題学習の中での教育集会所・市民館訪問に対応した。	(寺田) 開催回数:8回 参加者数:437人	(寺田) 開催回数:9回 参加者数:500人	統合
			* 寺田教育を考える母(保護者)の会 部落差別に負けない、許さない子どもの育成と学力保障を実現するため、課題解決に向けた部落問題学習や懇談会を実施し、保護者同士、また、保護者と保育士・教職員とのつながりを深めた。 * 保小中高連絡会 保・小・中・高の保育士・教職員と寺田教育集会所が、地区児童・生徒の現状や課題、部落問題について、共通認識を持ち、連携をとりながら課題解決を図ることができるよう、月1回のペースで、連絡会を開催した。 * 中瀬城東保育園・支部・教集三者懇談会 * 中瀬小学校・支部・教集三者懇談会 * 城東中学校・支部・教集三者懇談会 地域内の保育園・小学校・中学校と部落解放同盟寺田支部、寺田教育集会所が、地区児童・生徒の現状や課題、人権同和教育の推進について、共通認識を持つため、懇談会を開催した。	(寺田) 開催回数:26回 参加者数:312人	(寺田) 開催回数:30回 参加者数:400人	統合
			* 柘植中学校校区連絡会議	(前川) 開催回数:9回 参加者数:117人	(前川) 開催回数:10回 参加者数:130人	統合
			* 大山田保育園解放保育懇談会 * 大山田小学校教育懇談会 * 大山田中学校教育懇談会	(奥馬野) 開催回数:3回 参加者数:86人	(奥馬野) 開催回数:3回 参加者数:95人	統合

努力目標評価シート

文化財課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	1 文化財の調査・指定及び活用の推進	文化財保存経費	* 文化財保護審議会(2回)、文化財保護指導委員会(1回)を開催し、1件を新たに市の文化財として指定した。 * 指定文化財の調査・管理を実施した。(64件) * 指定文化財の説明看板を3カ所設置した。 * 文化財年報を発行するとともに、書籍『伊賀市の文化財』を販売し、文化財の啓発に努めた。	文化財調査64件	文化財調査50件	継続
		文化財施設維持管理	* 直営1館、指定管理4館の文化財施設を適切に維持管理し、入館者を増やすよう啓発した。	入館者数 8.89人/日	入館者数 12.50人/日	継続
		歴史まちづくり事業	* 伊賀市歴史的風致維持向上計画に基づき、2回の法定協議会、1回会議を開き、歴史まちづくりを進めた。 * 重点区域内において、歴史的風致維持向上形成建造物の指定を5件指定した。	計画進捗率30%	計画進捗率30%	継続
	2 有形文化財の保護・保存 3 民俗文化財の保護・保存	文化財保存事業	* 国重要無形民俗文化財 上野天神祭のダンジリ行事の民俗文化財伝承・活用等事業及び同行事の保存管理事業を指導・助言・監督した。	事業進捗率66%	事業進捗率66%	継続
			* 国重要文化財 猪田神社本殿の防災設備整備事業を指導・助言・監督した。	工事進捗率100%	工事進捗率100%	完了
			* 国重要文化財 高倉神社本殿の防災設備整備事業を指導・助言・監督した。	工事進捗率25%	工事進捗率25%	継続
			* 県指定有形文化財 春日神社拝殿の解体修理事業を指導・助言・監督した。	工事進捗率71%	工事進捗率71%	継続
			* 市指定有形文化財 常福寺鳳凰彫刻の保存修理事業を指導・助言・監督した。	事業進捗率100%	事業進捗率100%	完了
	4 記念物(史跡・名勝・天然記念物)の保護・保存	国史跡伊賀国庁跡保存整備事業	* 史跡公園としての整備を図るため、史跡伊賀国庁跡保存整備事業指導委員会(1回)を開催し、指導・助言を得ながら保存整備工事に着手するとともに、未取得であった史跡地内の用地を取得した。	進捗率:43%	進捗率:43%	継続
		国史跡上野城跡高石垣計測事業	* 国史跡上野城跡の高石垣で定点測量を実施し、高さや位置の変化を観察した。	測量実施地点数 10点		継続
文化財保存経費		* 国史跡上野城跡、伊賀国分寺跡、御墓山古墳の草刈り及び障害木の伐採を行い環境整備に努めた。 * 県指定天然記念物ノハナショウブ群落管理業務を実施した。 * 国特別天然記念物オオサンショウウオの保護に努めた。	進捗率100%		継続	
5 埋蔵文化財の保護と活用	埋蔵文化財発掘調査経費	* 上野丸之内地内の(仮称)忍者体験施設整備事業に伴い、成瀬平馬家屋敷跡の発掘調査を実施し、その成果を報道発表した。 * 対象となる民間・公共の開発事業に対し協議を進め、適宜試掘調査・立会調査を行った。	発掘調査 1件 試掘調査 4件 立会調査 16件	試掘調査 5件 立会調査 5件	継続	
6 文化財や歴史に関する諸資料の収集・保存及び活用	歴史資料保存管理経費	* 市民からの依頼で歴史資料を5件調査、収集し、目録を10件作成した。 * 『広報いが市』に「伊賀の歴史余話」(6回)を掲載した。 * 上野図書館・文化交流課とともにデジタルミュージアム「秘蔵の国 伊賀」を制作し、公開記念講演会(1回)を開催した。 * 『成瀬平馬家長屋門保存整備工事報告書』(中心市街地推進課担当)の分担執筆した。	目録作成10件	目録作成10件	継続	

# 努力目標評価シート

# 文化財課

努力目標	令和2年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1 文化財の調査・指定及び活用の推進	○施設を活用した様々なイベントが開催されていることは評価する。更なる利用促進のため、団体利用を想定した研修プログラムや学習支援プログラムの構築支援を検討されたい。	
4 記念物(史跡・名勝天然記念物)の保護・保存	○国史跡伊賀国庁跡は、市民が憩え、ウォーキングなどに組み込める場として、市民にとって訪れやすく親しみやすい場となるよう工夫してほしい。 ○国史跡上野城跡の高石垣の保存への取り組みを評価する。樹木の撤去など、少なくとも現状維持を図る事業の強化に努めてもらいたい。 また、上野城跡は、伊賀市観光の中心でもあるので、大人も子どもも日本人も外国人も、読んでわかりやすい説明を増やしてほしい。 ○小中学生に対して、オオサンショウウオの保護活動に関する情報提供等を検討してほしい。	
5 埋蔵文化財の保護と活用	○忍者体験は時代にマッチしているので、来た人がまた来たくなるような工夫をいっぱい考えてほしい。民間含め、他の忍者体験施設などとの連携し、共に観光客を呼べるアイデアを考案、実践されたい。	
6 文化財や歴史に関する諸資料の収集・保存及び活用	○市民が文化財や歴史に親しめるよう、積極的な機会づくりに取り組まれたい。	

努力目標評価シート

公民館

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7 生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	【阿山公民館】 公民館サークルの育成 読み聞かせ会	回数:8回 開催回数:7回 参加者数:5人	回数:8回 開催回数:24回 参加者数:110人	統合
			【大山田公民館】 一般講座 子ども対象講座 リズム運動教室(園児対象) サークルの育成 芸術文化祭(芸能大会) 芸術文化祭(展覧会) 読み聞かせ会(図書室) 読み聞かせ会(青山小学校等) 読み聞かせ会(子育て支援センター他)	開催回数:11回 参加者数:173人 開催回数:7回 参加者数:131人 開催回数:5回 参加者数:180人 回数:1回 開催回数:0回 参加団体:0団体 開催回数:0回 出展者数:0人 開催回数:11回 参加者数:110人 開催回数:4回 参加者数:404人 開催回数:2回 参加者数:38人	開催回数:20回 参加者数:300人 開催回数:10回 参加者数:220人 開催回数:6回 参加者数:230人 回数:3回 参加団体数:7団体 出展者数:800人 開催回数:24回 参加者数:240人 開催回数:30回 参加者数:1,100人 開催回数:3回 参加者数:140人	統合
			【青山公民館】 まなびあおやま(一般)講座 まなびあおやま(こども)講座 図書室公開講座『おはなし広場』 地域学習講座 読み聞かせ会(青山図書室) 文化サークル連協芸能発表会 ふるさと美術文化展覧会 公民館サークルの育成 青山分館活動事業	開催回数:4回 参加者数:28人 開催回数:1回 参加者数:11人 開催回数:1回 参加者数:67人 開催回数:10回 参加者数:264人 開催回数:5回 参加者数:125人 中止 中止 回数:4回 分館数:6 事業数:23	開催回数:23回 参加者数:390人 開催回数:6回 参加者数:220人 開催回数:7回 参加者数:350人 開催回数:5回 参加者数:360人 開催回数:15回 参加者数:450人 開催回数:1回 参加者数:400人 開催回数:1回 参加者数:410人 回数:18回 分館数:6 事業数:48	統合

努力目標	令和2年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
7 生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	<p>○統合後の事業の取捨選択は従来の単純な継続、マンネリ化にならないよう、時代にふさわしいもの、ニーズの多いものを熟考、検討し、編成してほしい。</p> <p>○今後の生涯学習推進体制によって、その地域の活動の濃淡ができることのないよう十分な検討を望む。</p> <p>○これまで育成や支援をしてきたサークル・団体が、衰退していくことがないように努められたい。</p>	

努力目標評価シート

上野図書館

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	1	市民の学習活動の支援 図書館管理経費 図書室管理運営経費 ・図書館の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 市民の生涯学習の場として、蔵書や資料の充実、提供に努めた。</li> <li>* 夏休みには、小学校4・5・6学年を対象とした「調べ学習」や、未就学児から小学生を対象とした「夜のとしよかん探検」事業を実施し、楽しみながら学ぶ機会を設けた。</li> <li>* 忍者月間には「忍者図書館」として、忍者特集や装飾を行い利用促進に努めた。</li> <li>* 伊賀市や関係団体が所蔵する貴重な歴史資料をデジタル化し、インターネット上で公開する「デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀」を開設し、いつでも、だれでも、どこでも、簡単に見ることができるようにした。</li> </ul>	進捗率100%	進捗率100%	充実
	2	利用サービス の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 市広報・図書室だより・分館の図書室広報誌等で、新着図書、おすすめ図書の紹介や催し物等開催について情報発信の中で利用促進に繋げた。</li> <li>* 図書館情報システム連携により、各図書館間や三重県立図書館等との相互貸借貸出等、利便性の向上を図った。</li> <li>* 地域の特性を活かした図書室運営を行い、身近な図書室ならではの読書活動推進に取り組んだ。</li> <li>* 校園長会などを通じて団体貸出のPRを行うとともに、月に2校ずつ市内小中学校へのセット文庫の定期配送サービスを行い、学校図書館支援を行った。</li> <li>* 上野点字図書館の録音図書の取次貸出サービスや、障がいのある方への郵送貸出サービスを行った。</li> </ul>	貸出冊数計 273,435冊 (内児童書 117,521冊) 上野:231,965冊 (内児童書 94,624冊) いがまち:10,829冊 (内児童書 6,534冊) 鳥ヶ原:756冊 (内児童書298冊) 阿山:8,429冊 (内児童書 4,247冊) 大山田:10,699冊 (内児童書 6,748冊) 青山:10,757冊 (内児童書 5,070冊)	貸出冊数計 307,000冊 (内児童書 130,100冊) 上野:261,000冊 (内児童書 107,000冊) いがまち:12,000冊 (内児童書 6,000冊) 鳥ヶ原:800冊 (内児童書400冊) 阿山:10,000冊 (内児童書 5,500冊) 大山田:12,000冊 (内児童書 6,200冊) 青山:11,200冊 (内児童書 5,000冊)	充実
				図書配送サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 図書館情報システムの連携及び定期的な配送サービスにより、身近な地域で市内各図書館所蔵資料を受け取れる等、利便性の向上を図った。</li> <li>* 市内小・中学校へセット文庫を配送するとともに団体貸出を活用することにより、児童・生徒の図書利用促進を図った。</li> </ul>	配送書籍数計 19,393冊 上野:7,392冊 いがまち:3,467冊 鳥ヶ原:616冊 阿山:2,531冊 大山田:3,046冊 青山:2,341冊
3	読書活動の支援と充実	読み聞かせ会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 図書館(図書室)において、市内の各ボランティアグループの協力を得て、子どもが本に親しむ機会をつくるため、絵本や紙芝居の読み聞かせ会を実施した。</li> <li>* 学校などへ出向きブックトークや読み聞かせ会を実施するほか、児童への図書利用促進を図った。</li> <li>* 同じ題名の各国の絵本を活用して、多言語での読み聞かせ会を開催し、言語・文化的な多様性に触れる機会をつくった。</li> </ul>	開催数計 115回 上野:30回 いがまち:27回 鳥ヶ原:8回	開催数計 265回 上野:60回 いがまち:30回 鳥ヶ原:21回	充実

努力目標評価シート

上野図書館

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2020年度の取組内容)	指標		方向性
				2020年度実績値	2020年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	3	読書活動の支援と充実	読み聞かせ会等の実施 * 図書館(図書室)において、市内の各ボランティアグループの協力を得て、子どもが本に親しむ機会をつくるため、絵本や紙芝居の読み聞かせ会を実施した。 * 学校などへ出向きブックトークや読み聞かせ会を実施するほか、児童への図書利用促進を図った。 * 同じ題名の各国の絵本を活用して、多言語での読み聞かせ会を開催し、言語・文化的な多様性に触れる機会をつくった。	阿山:9回 大山田:26回 青山:15回	阿山:24回 大山田:60回 青山:70回	
		特集コーナーの設置	* 「郷土の歴史夜咄会」を開催し、伊賀の歴史を学ぶ機会を提供するとともに、関連資料の歴史企画展示を行うことにより、伊賀の歴史への関心を高めた。 * 市民ニュースや時事情報を参考にテーマを決め、関連資料特集コーナーを設け利用促進に努めた。	特集実施計 136回 上野:47回 いがまち:14回 島ヶ原:13回 阿山:22回 大山田:27回 青山:13回	特集実施数計 140回 上野:50回 いがまち:20回 島ヶ原:13回 阿山:12回 大山田:24回 青山:21回	充実
		読書感想文コンクールによる読書活動啓発事業	* 読書感想文コンクールを実施し、特に児童の読書推進に努めた。	応募数:180点	応募数:350点	充実
4	資料の収集と活用 の推進	資料の収集と活用 * 市民からのリクエストや司書が選書した新刊図書などを購入し、資料の充実を図った。 * 古文書整理調査やレファレンス(調べもの相談)に取り組んだ。	図書購入冊数 計 6,791冊 上野:5,643冊 いがまち:331冊 島ヶ原:28冊 阿山:288冊 大山田:273冊 青山:228冊	図書購入冊数 計7,881冊 上野:7,000冊 いがまち:300冊 島ヶ原:20冊 阿山:200冊 大山田:180冊 青山:180冊	充実	

努力目標	令和2年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
1 市民の学習活動の支援	○今後ますますデジタル化が進んでも、活字の読書は必要である。市民が一人でも多く図書館(室)を利用する企画を望みます。	
2 利用者サービスの充実	○図書館の利用促進に努力を重ねていることに敬意を表する。図書館の棚に並んでいない図書でも蔵書あれば借りられることを知らない市民がいると思うので、検索システムの利用について更なる周知をお願いしたい。 ○窓口サービス、インターネットからの利用充実を図り、ますます、利用者目線での利便性を持つサービスを全館で行ってほしい。	

# 努力目標評価シート

上野図書館

努力目標	令和2年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価に対する今後の対応
<p>3</p> <p>読書活動の支援と充実</p>	<p>○読み聞かせボランティア方の日々の活動努力を評価する。読み聞かせ団体との連携は、今後も強く持っていたきたい。 公民館分館廃止後も、現在の分室でのボランティアが活動を継続できるよう充実したバックアップを望む。</p> <p>○市民が図書館を活用するための施策の1つとして、特集(特設)コーナーの設置があると考え。話題性のある特設企画の充実にもつなげたい。 また、特集コーナーを市民の生涯学習活動の場として積極的に提供するなど、図書館が生涯学習事業に参画することを望む。</p> <p>○読書感想文を書くことは、本を読んで得た知識を「活用する力」に通じるため重要である。コンクールへの参加を啓発されたい。 また、課題図書を購入するための予算の確保に努められたい。</p>	
<p>4</p> <p>資料の収集と活用の推進</p>	<p>○図書館の機能の中でレファレンスは重要で、知りたいことは何でも相談できるのが図書館だという認識が広まれば利用促進にもつながる。それに応えるレファレンス能力の向上も含めてレファレンスの充実にもつなげたい。</p> <p>○図書館は、文化の継承と公文書保管的な役割を持っている。その資料を題材にした生涯学習事業が展開できると考えるので検討されたい。</p>	